

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年7月21日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/21 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h	26.1	1.1 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h	32.2	5.01 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.02 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.3 m <sup>3</sup> /h	29.6	0.27 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.04 vol%

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (7/21 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	29.5
2号機	循環冷却システム	運転中	28.5
3号機	循環冷却システム	運転中	26.3
4号機	循環冷却システム	運転中	24.4

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘドラジンの注入を適宜実施。

・2015/7/21 3号機使用済燃料プール代替冷却系一次系ポンプ(B)の交換作業に伴い、7/21 10:09 に停止作業、7/21 11:17 に起動作業を実施。異常がないことを確認。なお、冷却停止時の使用済燃料プール水温度は 26.5 、起動時の温度は 26.9 と異常がないことを確認。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
1号機	タービン建屋	1号機廃棄物処理建屋	7/19 9:57 ~ 7/19 16:50 移送実施
2号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	7/17 10:43 ~ 7/19 10:14 移送実施
		集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	7/19 10:14 ~ 7/21 9:58 移送実施
3号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	7/17 11:26 ~ 7/19 10:18 移送実施
		集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	7/19 10:18 ~ 7/21 10:04 移送実施

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/21 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中 <sup>*1</sup>	運転中 <sup>*1</sup>	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 <sup>*2</sup>	ホット試験中 <sup>*2</sup>	ホット試験中 <sup>*2</sup>

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 5. その他 >

・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00 ~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・2015/5/27 ~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(フランジ型タンク)の解体作業を開始。

・2015/7/17 3:27 頃、汚染水処理設備(淡水化处理RO膜装置 3-3)において、漏えい検知器が動作したため、現場を確認したところ、同日 3:48 に同装置の高圧ポンプと配管の接続部から、水が漏えいしていることを当社社員が確

認。同日 3:50、同装置を停止。なお、装置内の残圧により鉛筆芯2本程度で漏えいは継続していたが、同日 4:30 分に漏えいが停止したことを確認。

漏えい範囲は、約 20m × 10m。漏えいした水については、同装置に設置されている堰内に留まっていることから、外部への影響はない。漏えいした水については、吸着材にて漏えい拡大防止措置を実施し、同日 10:20 から 14:20、パワープロベスター（バキューム車）による水の回収を実施。回収量は 2.5m<sup>3</sup>。漏えいの原因は、高圧ポンプの振動により基礎ボルトが緩んだことにより、高圧ポンプの振動が増加し、配管接続部の継手ネジ部に割れが発生し、そこから漏えいしたものと推定。

なお、同日 19:35 に健全性が確認できた 1 系統の運転を開始。

漏えい水の放射能分析結果は以下の通り。

< 漏えい水放射能分析結果 >

・セシウム 134 8.0 × 10<sup>2</sup>Bq/L

・セシウム 137 3.1 × 10<sup>3</sup>Bq/L

・コバルト 60 6.6 × 10<sup>1</sup>Bq/L

・全ベータ 6.3 × 10<sup>4</sup>Bq/L

- ・2015/7/20 9:30 頃、福島第一原子力発電所雑固体廃棄物焼却設備付近において、工事エリア内を移動中のクローラークレーンのラジエター部に火が見えたため、協力企業作業員が初期消火を行い、9:35 に火が消えたことを確認し、9:51 に 119 番通報を実施。その後、11:22 に浪江消防署により「車両火災」および、その鎮火が確認された。なお、プラントデータ（炉注水流量、燃料プール水温等）の異常、モニタリングポスト指示値の有意な変動、けが人の発生および発火箇所周辺に油漏れ・可燃物等はないことを確認。今後、発火の原因等について調査予定。

#### **1号機原子炉建屋カバー解体作業]**

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー（以下、建屋カバー）解体工事に向けて準備工事を開始。  
5/15 6:45 ~ 5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタ及びモニタリングポストのダスト濃度等に、有意な変動は確認されていない。
- ・2015/7/17 7:06 ~ 2015/7/21 9:10 1号機の原子炉建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。  
2015/7/28 頃から建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を計画。

#### **[海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況]**

- 【2号機】・2015/2/24 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業開始。  
6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 4,500m<sup>3</sup>の除去完了。  
7/10 海水配管トレンチ内の充填完了。
- 【3号機】・2015/5/2 ~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。  
6/12 ~ 当該作業に伴う海水配管トレンチ内の滞留水については、塩分濃度等を考慮しつつタービン建屋へ排水しているが、タービン建屋滞留水の塩分濃度が上昇した場合、汚染水処理に影響を及ぼすことが考えられるため、一時貯留先として1号機復水貯蔵タンク（以下、「1号機CST」という。）へ滞留水の受け入れを行う。その事前準備として、受け入れ可能な容量を確保する目的で、1号機CSTに貯留されている汚染水を1号機廃棄物処理建屋へ移送を行う。
- 【4号機】・2015/4/15 ~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

#### **[地下水バイパス揚水井の状況]**

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス揚水井 No.10 については、トリチウム濃度が運用目標値(1,500Bq/L)を超えていたことから、くみ上げを 2015/6/30 日に一旦停止し、週 2 回の傾向監視を継続していたが、2015/7/17 採水分の当該揚水井のトリチウム濃度は 1,900Bq/L であった。2015/7/18 に、あらかじめ決めていた対応にもとづき、一時貯留タンクに対する評価を実施した結果、運用目標値を満足すると評価したため、2015/7/18 16:09 からくみ上げを再開。

#### **[1 ~ 3号機放水路の状況]**

- 1 ~ 3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- < 最新のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】**

**< K排水路排水口のサンプリング実績 >**

- ・今回の分析結果については、セシウム 134、セシウム 137、全 値が前日の分析結果よりも上昇しているが、降雨の影響により一時的に上昇したものであると推定。引き続き、監視を継続していく。

**【H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】**

**< H4エリア周辺のサンプリング実績 >**

- ・2015/7/19 H4エリア周辺地下水E - 1の全ベータ値が、36,000Bq/L(採取日:7/17)となっており、前回採取時の 2,200 Bq/L(採取日:7/15)と比較して 10 倍を超えていることを確認。この値は、過去の変動の範囲内であり、当該観測孔の全ベータにおいては、降雨の際に以前にも上昇が見られていることから、今回の上昇についても、降雨が影響したものと考えている。

- ・その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**< H6エリア周辺のサンプリング実績 >**

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >**

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】**

**< 地下水観測孔サンプリング実績 >**

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

**< 地下貯水槽サンプリング実績 >**

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上